



組合員のかず

正組合員
915名
准組合員
4,054名
総計
4,969名
(8月末日現在)

CONTENTS

JAたきかわ祭り／芦別農業まつり／イースタン・リーグ米贈呈	2
各地区米初出荷／作況情報	3
令和1年産米概算金単価	4
ジャガイモシストセンチュウの取組みについて	5
水稻収穫後の圃場について	6
金融部からのお知らせ	7
JAカレッジの募集／秋の廃プラについて／理事会だより	8

第18回JAたきかわ祭り開催

8月3日(土) 当JA旧赤レンガ倉庫跡特設会場にて「第18回JAたきかわ祭り」が開催されました。

ステージイベントでは滝川市立東小学校合唱部による演奏、JA青年部によるかき氷早食い大会、ダンスパフォーマンス、農協スカパー☆ライブオーケストラによる生バンド演奏、最後にお楽しみ抽選会が行われました。

青年部、女性部、販売部、金融部、共済部、Aコープ、空知土地改良区が出店をし、多くのお客様にご利用頂きました。



本年度についても天候に恵まれ、沢山の皆様で賑わいました。ご来場頂きました皆様には感謝申し上げます。また、今後もJAたきかわのご利用をお願い申し上げます。

第46回星の降る里 芦別農業まつり開催

去る8月17日、芦別市北大通お祭り広場を会場に「第46回星の降る里芦別農業まつり」が開催されました。

台風の接近情報がある中、開催が危ぶまれましたが、安全確保を最優先に当日はステージイベントを中止し、地元農産物を始めとする物販中心でのお祭りとなりました。

恒例のもちまきについては、来場者への配布というスタイルに変えるなど臨機応変な対応を行い、ご来場頂いた方達にも楽しんで頂くことが出来ました。

最後になりますが、ご来場者は元より開催に向けてご対応頂きました皆様にも紙面をお借りしましてお礼申し上げます。



プロ野球チームへ米を贈呈

8月10日(土)

「日本ハムファイターズ対千葉ロッテマリーンズのイースタン・リーグ公式戦」が、芦別なまこ山総合運動公園で開催されました。

試合前のセレモニーにて、当JAより両チームへ芦別産ふっくりんこ30kgを贈呈致しました。

収穫が終わり、

芦別ばら施設にて調整が終わり次第、送付する予定となっております。

試合結果については、あいにくの雨模様でしたが、白熱した展開の中、延長戦の末ファイターズが勝利しました。

今回の米の贈呈でJAたきかわ管内芦別産ふっくりんこを一人でも多くの方々に食べて頂けることをうれしく思います。



**令和元年産米各施設に出荷始まる
滝川地区北の米蔵へ初出荷**

J A たきかわでは、9月14日に令和元年産米の受け入れが始まりました。

この日、北の米蔵に初出荷をしたのは赤平市住吉町の株式会社Y A M A D A、山田昌毅(37)さんの、高度クリーン米ゆめぴりか3・4 t。

受入れ時の品位を確認すると、タンパク値も6・3%となっており、低タンパク基準をクリアしたことから、「8月後半からの天候不順によりタンパク値の心配があった、ほ場状況も悪く刈り取り速度が上がらないが、今後の天候回復に期待しながら22 h aの適期収穫を心掛けたい」と話していました。

施設への初出荷に対して、J A たきかわ山岸専務から、山田さんに激励の言葉と記念品が贈られました。



芦別地区ばら化施設へ初出荷

9月16日に芦別ばら化施設に、芦別市上芦別町の櫻田浩生(57)さんの高度クリーン米ゆめぴりかの初出荷があり、J A たきかわ山岸専務から、施設初出荷者として激励の言葉と記念品が贈られました。

櫻田さんは、本日この後も出荷予定となっております。約10 tの出荷予定があるとのことでした。「9月10日から順次刈り取りを開始したが、

ほ場状況が悪く作業に苦慮するも、収量はそれなりにありそうなので、今後の天候と稲穂を見ながら適時収穫作業を進める」とのことでした。

施設操業状況

菜種については、7月16日(7月30日までの)受け入れで終了し、小麦については7月15日(8月18日までの)受け入れとなりました。

全地区合計の受け入れ重量については、次の表のとおりとなります。蕎麦につきましては、受け入れが終了しておりますので記載されておりません。

小麦各品種別受入重量

単位/ k g

品種/区分	生	半 乾	本 乾	品種合計
春よ恋	249,782.0	0.0	62,109.6	311,891.6
ハルユタカ	172,134.0	0.0	178,533.0	350,667.0
きたほなみ	1,485,689.0	272,691.0	1,098,459.6	2,856,839.6
区分合計	1,907,605.0	272,691.0	1,339,102.2	3,519,398.2

菜種受入重量

単位/ k g

区分	生	半 乾	本 乾	合 計
計	311,599.5	24,409.0	147,512.5	483,521.0



**◎北海道の作況概要
「やや良」見込み**

北海道における8月15日現在の作柄は「やや良」が見込まれます。

地帯別の作況指数は東北・北陸・東海・近畿・中国が99〜101の「平年並み」、関東・九州及び沖縄が95〜98の「やや不良」が見込まれるものの、田植期以降6月上旬にかけて高温・多照で推移したことや、梅雨明け後はおおむね天候に恵まれることから、全国の作況指数は100の「平年並み」が予想されます。

令和元年産の全国情勢については、全国での主食用作付面積(詳細については9月中旬、農政事務所より公表)は、前年より減少するとして、15都道府県ある一方、増加に転じた平成30年産同程度とする県が32都道府県あるなど、平年作となった場合でも、国の示す適正生産量(718〜726万トン)を上回ることが確実な状況となっております。

また、平成30年産では、一部主産地において主食用米の実作付面積が目安を大幅に超過した経過を踏まえ、本年産の実作付動向、政府備蓄米落札状況等には引き続き注視が必要であり、需要の減少傾向を勘案すると、更なる需給の緩和が想定されます。

ホクレンにおいては今後の府県産価格や作柄により相対価格を勘案し決定される予定となります。

◎出荷契約数量は184,858.0俵、1俵でも多くの集荷に向け取り組みます

本年の出荷契約数量は、うるち米173,194.0俵、もち米11,664.0俵合わせて184,858.0俵の契約となりました。出荷契約時・推進時、「ご契約をいただきました生産者各位に対し心からお礼申し上げます。

今後、出荷増に向け推進を実施し1俵でも多く積上げるよう集荷に努めて参ります。

◎「JAたきかわ産米」産地評価の向上・信頼に向け

本年の米販売は、播種米契約数量104,310.0俵を提案し、全て成約に至っており、ホクレン共計販売を中心とした安定販売と固定ユーザー向けJA独自販売を引き続き実施し共計経費の削減と精算価格の上積みに向け販売に取り組んで参ります。

今後米価の安定を図っていく為、卸・実需へ中長期的に幅広い需要（特裁米、一般米、業務用米）に対応する安定生産・安定供給体制による販売量を確保することにより信頼される産地として、生産者とJAが一体となって集荷・販売を展開していくことが重要になりますので1俵でも多くの出荷のご協力をお願い致します。



単位：円/60Kg（消費税込）

区分 品 種	6.8%以下		6.9~7.9%		8.0%以上	
			6.9~7.4%	7.5~7.9%	8.0~8.4%	8.5~8.8% 8.9%以上
きらら397	一般米 12,700					高タンパク 12,700
ななつぼし	低タンパク 13,300	一般米 12,800		12,800	高タンパク 12,800	
ほしのゆめ	低タンパク 13,300	一般米 12,800		12,800	高タンパク 12,800	
きたくりん	低タンパク 13,200	一般米 12,700		12,700	高タンパク 12,700	
おぼろづき	第1区分 13,000			第2区分 12,700		
ゆめぴりか	第1区分S 14,500	第1区分 14,000	第2区分 12,700	第3区分 12,700		
ふっくりんこ	基準品 (※ミット加算含) 13,400	基準外A1 12,800	基準外A2 12,500	基準外B 12,500		
ゆきひかり	12,700					
そらゆき・えみまる	12,700					
あやひめ・ほしまる	12,700					
大地の星	12,300					
その他うるち	11,500					
主食用もち米	11,000					
JA 仮渡金	上記単価に加え1,000円（全ての品種を対象に営農部と協議後、申込組合員に対して）					

令和元年産米仕分け基準並びに概算金単価は次のとおりとします。

- ① 対象品種「ななつぼし」「きらら397」「ほしのゆめ」「おぼろづき」「きたくりん」「ゆめぴりか」「ふっくりんこ」
- ② 等級品位「1等のみ」
- ③ 入庫区分及び概算金単価（1等米基準）

令和元年産タンパク仕分け並びに概算金単価（業務用米、買取・受託販売品は除く）

◎JA 仮渡金（経営対策費）については、出荷数量が確定後（12月上旬）営農部とご協議の上、申込者へ一括支払い、翌年6月に一括返還して頂くことと致します。《無利子》

◎共計費用見合い部分を控除して概算金を設定しています。

加工米用米	1等	10,200	2等	9,200	3等	8,200
新市場開拓米	1等	10,200	2等	9,600	3等	9,000

◎出荷数量確定後、年内一括精算としますので、翌年の追加精算はありません。

ジャガイモシストセンチュウ対策の取組について

近年、道内で発生地域が拡大し問題となっている「ジャガイモシストセンチュウ」は、じゃがいもの根に寄生して生育不良を引き起こす害虫です。（人体には無害です。）

この害虫は土中に生息するため、靴や自動車のタイヤに付いた土の移動によって、未発生地域で新たに発生する恐れがあります。

（シストセンチュウが発生したほ場）

（土の移動）

（シストセンチュウ未発生ほ場）



芦別市は未発生地域であるため、芦別市ジャガイモシストセンチュウ対策協議会では、ジャガイモシストセンチュウ侵入対策の取組を実施しております。

～取組例～

- ・フーツカバーの着用(芦別新城地区 種いもほ場)
- ・洗車機の設置(たきかわ農協芦別集荷場)



※関係機関の皆さまにおかれましては、上記の取組についてご協力お願いいたします。

令和元年 水稲収穫後圃場管理のチェックポイント

- ・ 根雪前の圃場管理（ステップ1～3）で乾田化を徹底し、乾土効果を活用しましょう！
- ・ 来年に向けて、圃場整備と土壌診断（ステップ4・5）を実施しましょう！

ステップ1 稲わらの搬出

- ◆ 稲わらは貴重な資源です。搬出して堆肥や飼料などに有効活用しましょう！（写真下）
- ◆ 稲わらの野焼きは、煙害（健康・交通）や産地への風評害の原因になります。絶対に行わないようにしましょう！
- ◆ 稲わら搬出は、いもち病発生圃場では菌密度を低減できます。

ステップ3 心土破碎の施工

- ◆ 心土破碎は、「圃場が乾いている時にできるだけゆっくりと施工する」がコツです。



ステップ2 溝掘りで表面排水の促進

- ◆ 溝は落水口につなぎ、表面水を圃場外に流すことが重要です！
- ◆ 表面水の除去により、圃場の乾燥が早まります。



ステップ4 あぜの補修

- ◆ 冷害危険期に、最大20cmの深水管理ができるしっかりとした畦に補修しましょう！



ステップ5 土壌診断の活用

- ◆ 高品質米の安定生産には、施肥の適正化が必須です。
- ◆ 土壌診断や圃場の生育を参考に、圃場ごとに施肥を見直しましょう！
- ◆ 土壌分析は、3～4年毎に行いましょう！



稲わらの搬出

組合員の皆様へ

フルスペックローン

実施期間
令和1年12月28日まで

トラクターなどの農機具の購入資金に！ビニールハウスなどの資材・設備費用に！農機具クレジットからの借換資金に！

キャンペーン
固定金利 年 **1.60%** → 100万円以上の借入の場合、
利息補給制度適用により
お借入から3年間はそれぞれ実質金利 年 **0.60%**

変動金利 年 **1.30%** → 年 **0.30%**

- ・ご返済は元金均等 年1回返済(毎年11月30日)です。
- ・農業信用基金協会の保証契約が必要になります。(保証料率 年0.3~0.4%)



ステップアップローン

農地取得・農舎建築資金に！



償還15年以内
固定金利 年 **1.00%** → 100万円以上の借入の場合、
利息補給制度適用により
お借入から5年間はそれぞれ実質金利 年 **0.20%**

償還25年以内
固定金利 年 **1.20%** →

- ・ご返済は元金均等 年1回返済(毎年11月30日)です。
- ・農業信用基金協会の保証契約が必要になります。(保証料率 年0.3~0.4%)

宅地・住宅資金

実施期間
令和1年9月30日まで

住宅新築や中古住宅・土地購入資金に！住宅の増改築・他金融機関からの借換等の資金に！

今なら9大疾病保障特約が **自己負担なし** で入れます！
※加入条件がございます。

安心の
全期間固定金利型

当初3年間 → 年 **0.50%** 4年目以降 → 年 **1.65%**

固定変動選択型 [店頭基準金利 令和1年9月2日現在]

3年固定 年 **0.50%**
(店頭基準金利/年2.73%)

5年固定 年 **0.85%**
(店頭基準金利/年2.87%)

10年固定 年 **0.95%**
(店頭基準金利/年2.98%)

当初特約期間終了後も引き続き
固定金利を選択された場合は その時点の店頭基準金利から 年 **1.60%** 引下げします！

- ・ご返済は元金均等 年1回返済(毎年11月30日)です。
 - ・農業信用基金協会の保証契約が必要になります。(保証料率 年0.4%)
- ※各ローンには諸条件がございます。

お問い合わせ、お申込は最寄りの営農部または融資窓口にご相談下さい！



ちよリス

JAへ100%就職

平成30年度実績

令和2年度 第2回学生募集

大学・短大・専門学校
高校生大歓迎

- 定員60名 ●男女共学 ●1カ年、全寮制 ●満24歳未満(平成31年4月1日現在)
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:12月13日・14日 ●願書受付:10月1日～11月18日消印有効 ●学校見学もできます


お問い合わせ
資料請求

JAグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417 JAカレッジ 

秋の廃プラ回収について

来たる11月中旬で秋の廃プラ回収を予定しております。各地区の日程が決まりましたら、再度ご案内致します。廃プラ回収で回収できるもの・回収できないものがありますのでご確認のうえお持ち頂きますようよろしくお願いいたします。

廃プラ回収
できないもの
(例)

- クロスシートなどにハトメ金具がついているもの(ハトメを外してあるものについては回収できます)
- ゴム製品 ●ホース類(糸が埋め込まれているもの) ●鉄類

夏の廃プラ回収の際に上記のものが多く見受けられましたので、再度ご確認して頂きますようよろしくお願いいたします。



理事会だより

第八回理事会

令和元年七月二十五日(木)

決議事項

- 一. 出資の譲渡・減口について
- 二. 不良債権の処理方針について
- 三. 資金の貸付について

協議事項

- 一. 令和元年産米の販売基本方針について
- 二. 半期末決算実地棚卸の立会について

第九回理事会

令和元年八月二十一日(水)

決議事項

- 一. 第2四半期末実績及び下期の取組みについて
- 二. 令和1年産米集荷方針並びに秋季地区別懇談会の実施について
- 三. 不良債権の処理方針について
- 四. 出資の譲渡・減口について
- 五. 資金の貸付について

協議事項

- 一. 令和2年度職員採用予定の変更について